

活用編

賑わいを演出する

商業地域において、高彩度の広告物は歩行者の視界に入る低層階に設置することで賑わいを演出します。また、店前のファサードや装飾品と雰囲気合わせたデザインとするなど、広告物を効果的に活用し、地域や通りの魅力を高めましょう。



広告物を建物の形状に合わせ、また低層階で高彩色を効果的に使用することで、通りの賑わいを演出している



演色照明を効果的に活用することで、通りの賑わいを演出する広告となっている

那覇市の
景観ビジョン

デザインマニフェ
ルの体系について

序
章

屋外広告物の安全性
確保と維持管理

より良い広告物
とするために

屋上広告

壁面広告

種別デザインマニフェ
ル

突出広告

野立広告

その他広告

活
用
編

素材を活かす

木などの自然素材を活用することで、落ち着き・伝統・風格などが醸し出されます。歴史的地域では、赤瓦や琉球石灰岩などの素材と調和させることで、趣のある広告物となります。



木材を活かしたぬくもりが感じられる広告



琉球石灰岩に切り文字を合わせた風格のある壁面広告となっている



赤瓦と木製の壁面広告、のれんの雰囲気マッチして、歴史性のある地域の風格を醸し出している



広告物コラム

店前や通りの魅力づくり



ちようちん
のれんや提灯を活用した広告により、店舗の印象を向上させている



ベンチや植栽が店舗の魅力を高めている



オーニング(日よけ)や窓面を広告として活用し、ベンチを置くことで店舗の魅力を高めている



商品そのものが広告となり、通りの魅力を高めている

店舗の広告機能としては、屋外広告物だけではなく、のれんやベンチなどのアイテムや、壁面の色、オーニング(日よけ)、または商品自体が広告の効果を発揮する場合があります。店前の“ベンチ”や“植栽”などのアイテムは、通りを歩く人に潤いや安らぎ感を与え、宣伝効果だけでなく、店舗や通りの印象向上にもつながります。

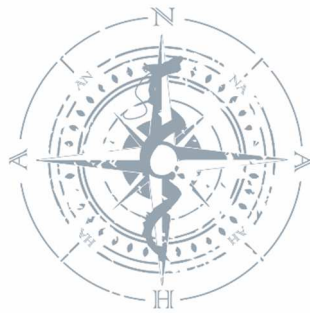
広告物以外のアイテムも活用して、店前や通りの魅力アップにつながる広告のあり方を考えてみましょう。

那覇市建築デザインマニュアル・サインデザインマニュアル改定検討委員会
委員名簿

	委員氏名	所属・役職
1	都市 デザイン アドバイザー	赤嶺 雅 那覇市都市デザインアドバイザー 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部デザイン工芸学科 教授
2		慶佐次 操 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 名工企画設計 代表取締役
3		島田 宏光 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 島田ランドスケープ 代表取締役
4		波多野 想 那覇市都市デザインアドバイザー 琉球大学 観光産業科学部 准教授
5		宮城 敏明 那覇市都市デザインアドバイザー 株式会社 沖縄建設技研 常務取締役
6	関 係 団 体	永吉 英 沖縄県広告美術協同組合 理事長 有限会社 エーツーサイン 代表取締役
7		赤嶺 竜司 沖縄県広告美術協同組合 専務理事 株式会社 昭和制作 代表取締役
8		池間 守 一般社団法人 沖縄県建築士事務所協会 副会長 株式会社 エー・アール・ジー 代表取締役社長
9		金城 傑 公益社団法人 沖縄県建築士会 副会長 有限会社 K・でざいん 代表取締役社長
10	當間 卓 公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 支部長 株式会社 泉設計 代表取締役社長	
11	都市 計画	前原 信達 株式会社 都市科学政策研究所 上席研究員 前那覇市都市景観審議会委員
12	カラー	中島 明美 有限会社デザインワークスオンリーワン 代表取締役 沖縄都市モルルールビジュアルデザイン検討委員会委員

※那覇市サインデザインマニュアルの事例写真について

那覇市サインデザインマニュアルで使用している事例写真については、那覇市内の事例を主としていますが、より良い事例を紹介するため、県内外の他市町村等の事例を一部活用しております。また、現状に即した最新の整備事例を紹介するため、事例写真の追加等も、今後行っていく予定です。



那覇市サインデザインマニュアル

平成 3 年 3 月策定

平成 29 年 3 月改定

那覇市